Fresh life for all.
すべての人に、いきいきとした生活を。

# 2022年3月期
# 決算説明会資料

2022年5月16日発表
アルフレッサ ホールディングス株式会社

# 連結損益計算書

| （百万円、%） | 2021年3月期 | | **2022年3月期** | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 増減額 | 前年比 |
| 売 上 高 | 2,610,427 | – | **2,585,643** | – | △24,784 | 99.1 |
| 売上総利益 | 182,794 | 7.00 | **187,468** | **7.25** | 4,674 | 102.6 |
| 販 管 費 | 154,864 | 5.93 | **158,377** | **6.13** | 3,512 | 102.3 |
| 営業利益 | 27,929 | 1.07 | **29,091** | **1.13** | 1,161 | 104.2 |
| 経常利益 | 31,918 | 1.22 | **32,576** | **1.26** | 657 | 102.1 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 24,501 | 0.94 | **32,182** | **1.24** | 7,681 | 131.3 |

※2022年3月期の影響額 ：
収益認識基準影響：売上高△187億円、売上総利益および営業利益△24百万円
受取情報料等の表示変更：売上高、売上総利益、および営業利益＋77億円
2021年3月期も表示方法の変更後の数値に組み替えて記載

# 連結貸借対照表

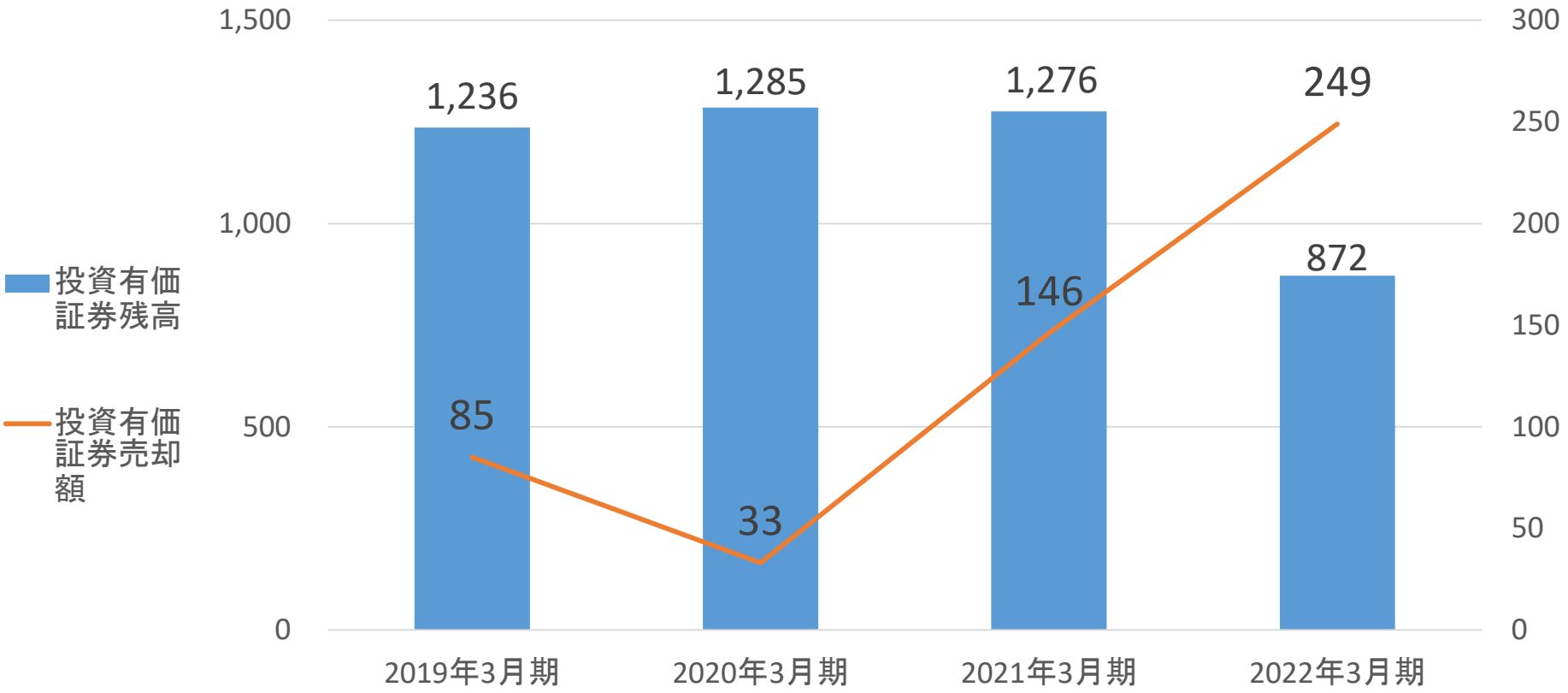
| (百万円、%) | 2021年3月末 | 比率 | **2022年3月末** | **比率** | 増減額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 992,480 | 75.4 | **1,016,471** | **78.0** | 23,990 |
| 現金・預金・有価証券 | 170,336 | 12.9 | **180,436** | **13.8** | 10,099 |
| 受取手形・売掛金 | 593,343 | 45.1 | **602,488** | **46.2** | 9,145 |
| 棚卸資産 | 148,049 | 11.2 | **146,891** | **11.3** | △1,158 |
| 固定資産 | 324,177 | 24.6 | **287,520** | **22.1** | △36,657 |
| 有形・無形固定資産 | 176,380 | 13.4 | **181,565** | **13.9** | 5,185 |
| 投資その他資産 | 147,797 | 11.2 | **105,954** | **8.1** | △41,842 |
| 資産合計 | 1,316,658 | 100.0 | **1,303,991** | **100.0** | △12,666 |
| 流動負債 | 783,929 | 59.5 | **802,813** | **61.6** | 18,883 |
| 支払手形・買掛金 | 753,857 | 57.3 | **755,250** | **57.9** | 1,392 |
| 固定負債 | 42,771 | 3.3 | **29,343** | **2.3** | △13,428 |
| 純資産 | 489,957 | 37.2 | **471,835** | **36.2** | △18,122 |
| 非支配株主持分 | 221 | 0.0 | **241** | **0.0** | 20 |
| 負債・純資産合計 | 1,316,658 | 100.0 | **1,303,991** | **100.0** | △12,666 |

# 連結キャッシュ・フロー

| （百万円） | 2021年3月期 | **2022年3月期** |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △21,191 | **36,546** |
| （うち売上債権・棚卸資産・仕入債務増減） | △39,615 | **△5,376** |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,732 | **2,304** |
| （うち固定資産取得） | △18,211 | **△16,989** |
| （うち投資有価証券取得） | △2,236 | **△1,279** |
| （うち投資有価証券売却） | 14,687 | **24,977** |
| フリーキャッシュ・フロー | △25,924 | **38,850** |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △14,472 | **△29,151** |
| （うち配当金支払） | △10,795 | **△11,430** |
| （うち自己株式の取得） | △2 | **△15,254** |
| キャッシュ増減額（△は減少） | △40,391 | **10,047** |
| キャッシュ期末残高 | 169,060 | **179,108** |

# 投資有価証券の状況

投資有価証券残高と投資有価証券売却額(億円)




| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 投資有価証券残高(億円)* | 1,236 | 1,285 | 1,276 | 872 |
| 投資有価証券の売却額(億円)** | 85 | 33 | 146 | 249 |

*貸借対照表ベース、**キャッシュフローベース

# 医療用医薬品等卸売事業

- 医療用医薬品：市場成長*+2.９％　当社△0.1%　当社市場シェア**23.1%
- 独占禁止法違反による医療機関の入札指名停止等の影響により減収となるも、適正価格での販売や診断薬の売上増加に伴い、売上総利益率アップ
- 物流センターへの投資等による減価償却費等の販管費増加により営業減益

| （百万円、%） | 2021年3月期 | | **2022年3月期** | | 増減 | | 予想比*** |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 増減額 | 前年比 | |
| 売 上 高 | 2,297,893 | – | **2,288,102** | – | △9,790 | 99.6 | 100.3 |
| 売上総利益 | 134,492 | 5.85 | **138,102** | **6.04** | 3,609 | 102.7 | 106.1 |
| 販 管 費 | 108,915 | 4.74 | **113,262** | **4.95** | 4,347 | 104.0 | 101.4 |
| 営業利益 | 25,576 | 1.11 | **24,839** | **1.09** | △737 | 97.1 | 134.3 |

*クレコンリサーチ&コンサルティング　　**社内資料　　*** 2021年11月修正予想比

※2022年3月期は会計方針の変更後、表示方法の変更後の数値を記載
　2021年3月期も表示方法の変更後の数値に組み替えて記載

# 売上構成比・妥結率

【カテゴリー別売上構成比】

| | 2021年3月期 | | **2022年3月期** | |
|---|---|---|---|---|
| | 構成比 | 前年比 | **構成比** | **前年比** |
| 新薬創出加算品 | 26.7% | 104.9% | **33.7%** | **106.8%** |
| 特許品・その他 | 44.5% | 101.3% | **38.1%** | **103.3%** |
| 長期収載品 | 16.2% | 70.3% | **15.5%** | **77.4%** |
| 後発医薬品 | 12.6% | 104.7% | **12.7%** | **100.1%** |

【妥結率】

| 2020年3月期 | 2021年3月期 | **2022年3月期** |
|---|---|---|
| 99.6% | 99.7% | **99.9%** |

# セルフメディケーション卸売事業

- 前年同期における新型コロナウイルス関連商品の需要増の反動減により減収減益
- 2021年4月のセグメント内での合併により、経営資源を有効かつ効率的に活用するなど、経営基盤を強化

| （百万円、%） | 2021年3月期 | | **2022年3月期** | | 増減 | | 予想比* |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 増減額 | 前年比 | |
| 売 上 高 | 261,749 | – | **244,822** | – | △16,926 | 93.5 | 101.6 |
| 売上総利益 | 26,010 | 9.94 | **24,053** | **9.83** | △1,957 | 92.5 | 100.2 |
| 販 管 費 | 23,485 | 8.97 | **22,183** | **9.06** | △1,301 | 94.5 | 99.9 |
| 営業利益 | 2,525 | 0.96 | **1,869** | **0.76** | △655 | 74.0 | 103.9 |

*2021年5月発表の期初予想比

※2022年3月期は会計方針の変更後、表示方法の変更後の数値を記載
2021年3月期も表示方法の変更後の数値に組み替えて記載

# 医薬品等製造事業

- 長期収載品の承継、および2021年3月に発売した新型コロナウイルス抗原迅速検査キット等の売上増により増収増益

| （百万円、%） | 2021年3月期 | | **2022年3月期** | | 増減 | | 予想比* |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 増減額 | 前年比 | |
| 売 上 高 | 42,595 | – | **47,359** | – | 4,764 | 111.2 | 97.6 |
| 売上総利益 | 10,282 | 24.14 | **12,610** | **26.63** | 2,327 | 122.6 | 95.5 |
| 販 管 費 | 10,427 | 24.48 | **10,743** | **22.68** | 315 | 103.0 | 91.8 |
| 営業利益 | △144 | △0.34 | **1,867** | **3.94** | 2,012 | – | 124.5 |

*2021年5月発表の期初予想比

※2022年3月期は会計方針の変更後の数値を記載
また当セグメントは表示方法の変更による影響はありません。

# 医療関連事業

- 2021年4月の合併によりアポクリート㈱発足
- 薬価の中間年改定の減収影響はあるものの、セグメント内の合併に伴い、店舗数の増加、および経営基盤の強化を図るとともに効率化を実現し増収増益
  （22年3月末：172店舗　前同比+15店舗）

| （百万円、%） | 2021年3月期 | | **2022年3月期** | | 増減 | | 予想比* |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 増減額 | 前年比 | |
| 売 上 高 | 33,308 | – | **34,468** | – | 1,159 | 103.5 | 97.9 |
| 売上総利益 | 12,089 | 36.30 | **12,927** | **37.51** | 837 | 106.9 | 100.2 |
| 販 管 費 | 12,450 | 37.38 | **12,744** | **36.97** | 294 | 102.4 | 99.6 |
| 営業利益 | △360 | △1.08 | **183** | **0.53** | 543 | – | – |

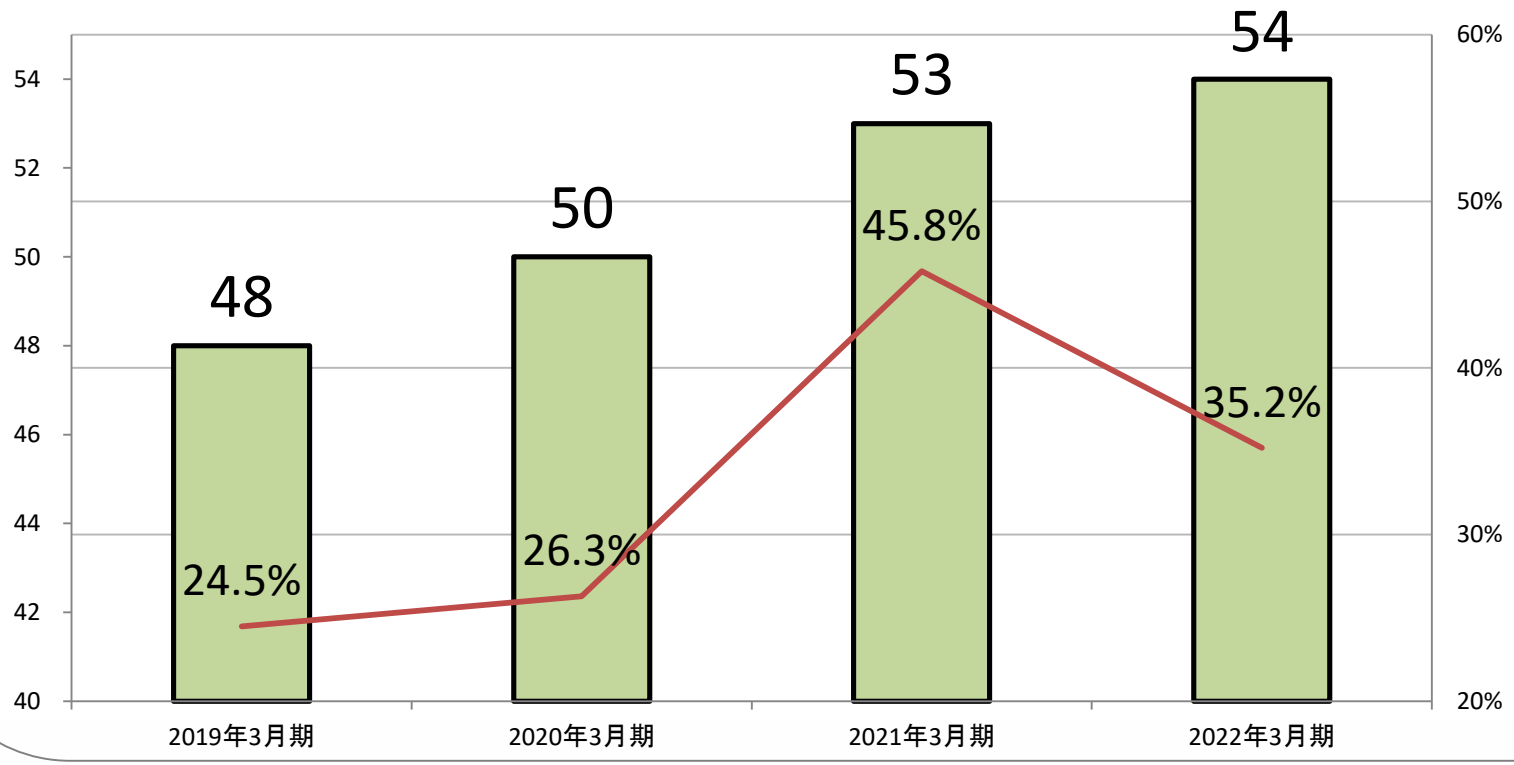
*2021年5月発表の期初予想比

※2022年3月期は会計方針の変更後、表示方法の変更後の数値を記載
2021年3月期も表示方法の変更後の数値に組み替えて記載

# 株主還元

- １８期連続して増配
- 自己株式取得 150億円（2021年11月~2022年3月 市場買付）

**1株当たり配当金(円)と配当性向(%)の推移**



# 19-21中期経営計画の振り返り

# グループ経営計画の成果

| 項目 | 19-21 中期経営計画 | 22年3月期実績 | 主な要因 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | **2兆7,500億円**<br>(2兆7,562億円)※1 | **2兆5,856億円** | ・コロナ禍における受診抑制・インバウンド需要の減少<br>・薬価の中間年改定による医療用医薬品市場の成長抑制<br>・独占禁止法違反による医療用医薬品卸の入札指名停止<br>・コロナ影響や中間年改定等による医療用医薬品卸における利益率の低下 |
| 営業利益率 | **1.7%以上**<br>(2.0%以上)※1 | **1.1%** | |
| 当期※2<br>純利益率 | **1.4%以上** | **1.2%** | ・投資有価証券売却益による純利益増加 |
| 投資総額<br>(累計) | **1,200億円** | **665億円** | ・M&Aや出資等の事業拡大投資の一部未実施 |
| ROE | **8%水準** | **6.7%** | ・当期純利益※2の減少による低下 |
| 株主還元 | **DOE※3 2.3%以上** | **DOE 2.3%** | ・安定した配当方針を継続(18期連続の増配達成) |

| | 計画 | 実績 |
|---|---|---|
| 事業強化投資 | 790億円 | 521億円 |
| 事業拡大投資 | 360億円 | 93億円 |
| システム投資 | 50億円 | 51億円 |

※1 2022年3月期より適用した収益認識基準及び表示変更を反映した場合の数値。
※2 親会社株主に帰属する当期純利益(率)
※3 連結純資産配当率

# 19-21 グループ経営方針と成果

## グループ連携体制の構築

・医療用医薬品等卸売事業における再生医療等製品の全国流通ネットワーク構築

・医薬品等製造事業におけるグループニーズに沿った製品ラインナップ拡充

## 事業モデルの変革

・個別化医療支援プラットフォーム「NOVUMN」の運用を開始

・ヤマトグループとの協業による、調剤薬局から患者様への処方薬配送サービスサービスの開始

・再生医療等製品や医療機器の開発、オンライン診療システムの開発・運営を行うベンチャー企業等との業務提携や資本提携

## 地域の人々の健康への貢献

・新型コロナワクチンや接種用の針・シリンジの保管管理と輸送

・政府の指令を受けた消毒目的の特定アルコール配送

・地域包括ケアシステム構築の推進役であるMSによる多職種連携会議の開催

## さらなる生産性の向上

・セルフメディケーション卸売事業および医療関連事業における子会社間合併による効率化と経営基盤の強化

・アルフレッサ ホールディングス（株）に「DX推進部」を新設、グループ全体で業務効率向上やデジタルによる事業変革を推進

## 人づくり

・アルフレッサグループの成長戦略・価値創造・生産性向上を実現するための人財づくりを目的に、アルフレッサ ホールディングス（株）に「人事企画部」を新設

・「アルフレッサグループ ダイバーシティ方針」を策定し、グループを挙げた女性管理職比率の向上や女性活躍の基盤整備

# 主な取り組みと成果（1）

| セグメント | 方針 | 成果 |
|---|---|---|
| 医療用医薬品等<br>卸売事業 | MS機能のさらなる「進化」<br>・提案営業の強化<br>・エリア戦略の実践<br>・地域包括ケアシステムへの取り組み<br>・メディカル品[*1]への注力<br>スペシャリティ商品への注力<br>グループ物流の「高度化」「効率化」と「標準化」 | ・ 医療経営士資格取得者数2,000名を達成<br>・ エリア営業本部を新設するなど、地域特性に合った営業戦略を推進<br>・ 調剤薬局事業との連携による在宅医療に向けた取り組みを推進<br>・ 地域のケアマネージャーや薬剤師、医師、看護師が集まる多職種連携会議を開催<br>・ メディカル品の営業員比率が増加、売上高増加<br>・ 再生医療等製品の取り扱いが可能な物流拠点を全国9箇所に拡大<br>・ 個別化医療支援プラットフォーム 「NOVUMN」の協議会を設立<br>・ 一元流通品の取扱品目、取り扱い金額増加<br>・ 郡山物流センター、静岡物流センター稼働、および つくば物流センターの着工<br>・ 医薬品配送支援ツール「saios」を使用する事業会社拡大<br>・ PIC/S GDP*[2]に対応した物流拠点を整備(進行中)<br>・ ヤマト運輸㈱との協業による配送業務量予測や適正配車計画のシステム導入による配送業務効率化(進行中) |
| セルフ<br>メディケーション<br>卸売事業 | 安定的かつ持続的な事業基盤の確立<br>消費者目線に立った商品提案<br>専売メーカー・商品の取り組み強化<br>将来に向けた投資<br>・新規顧客の創造・新規チャネルへの挑戦<br>・次世代サプライチェーンの創造<br>・取扱品目の拡大に向けた取り組み<br>(日用雑貨・ビューティ)<br>各事業セグメントとの連携強化 | ・ 事業会社2社が合併<br>・ CDT(消費者意思決定ツリー) [*3]の推進<br>・ 専売品の品目数を拡充<br>・ ニューチャネル開拓による売上高増加<br>・ 専売品に関する勉強会で卸売ルートを拡大し売上高増加 |

*1 メディカル品：診断薬、医療機器・医療材料、栄養食品
*2 PIC/S GDP：医薬品の流通過程における温度管理、衛生管理、各種手順書等に関する国際基準
*3 CDT(消費者意思決定ツリー)：消費者がどのような優先順位に基づいてどのような購買を行っているのかという購買パターン分析手法

# 主な取り組みと成果（2）

| セグメント | 方針 | 成果 |
|---|---|---|
| 医薬品等製造事業 | 安心・安全・誠実なモノづくりの推進<br>グループニーズに沿った製品の拡充<br>製造受託・医薬品原薬事業の拡大<br>海外事業の拡充 | ・生産管理システムの導入準備完了(2022年4月以降導入)<br>・原価低減に向けた取り組み<br>・承継品の拡大(第一三共㈱、小野薬品工業㈱)<br>・「アルソニック® COVID-19 Ag」を発売<br>・「ミダフレッサ®静注0.1%」の適応症拡大 |
| 医療関連事業 | 機能に応じた店舗の再編<br>収益改善を目指した機能の効率化・高度化<br>多機能化による地域社会への貢献<br>各事業セグメントとの連携強化 | ・地域連携薬局認定取得店舗、専門医療機関連携薬局認定取得店舗<br>・事業会社3社が合併<br>・不採算店整理等による経営効率化<br>・オンライン服薬指導・服薬フォローシステムを全店舗に導入<br>・在宅医療対応件数の増加<br>・健康サポート薬局の増加<br>・医療用医薬品等卸売事業との連携による地域活動(健康フェアや介護勉強会の開催) |
| ESG重要課題 | 環境への配慮<br>人権尊重と働きがいのある職場<br>地域社会への貢献<br>成長を支える経営基盤の強化<br>(コーポレートガバナンス)<br>事業基盤の充実・強化<br>(コンプライアンス・リスクマネジメント) | ・「アルフレッサグループ環境方針」策定、CO2排出量削減<br>・「アルフレッサグループ ダイバーシティ方針」策定、女性リーダー育成研修開始<br>・「健康経営優良法人」認定(7社)、「えるぼし」認定(2社)<br>・地域見守り活動推進、認知症サポーター養成<br>・経営体制の強化(社外取締役増員、常勤監査役増員)<br>・政策保有株式縮減<br>・不祥事に対する再発防止策策定、推進、モニタリング(医療用医薬品等卸、調剤薬局)<br>・災害時、パンデミック下における安定的な医薬品供給体制<br>・コンプライアンス研修、腐敗防止に関する研修等の実施 |

# ベンチャー投資

医療分野における社会課題解決を目指し、多様な医療ニーズに対応できる製品やサービスを提供する医療関連領域ベンチャー企業への積極的な投資を、2020年度より本格化させ、現在も継続中

**19-21 中計期間中における投資実績**

**46億円**

**医療関連領域ベンチャー企業への投資目的と投資先企業数**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 一元流通の獲得 | 創薬ベンチャーや再生医療ベンチャーへの投資<br>(㈱遺伝子治療研究所、NCメディカルリサーチ㈱、ヒューマンライフコード㈱、㈱ファーマバイオ、㈱メトセラ 他) | 6社 |
| 2 | メディカル品等商品の拡大 | 患者様にとってより効果的な治療に貢献するための投資<br>(㈱クォンタムオペレーション、ドーナツロボティクス㈱、㈱Lily MedTech) | 3社 |
| 3 | ヘルステックの展開 | ヘルステックベンチャーへの投資<br>(㈱インテグリティ・ヘルスケア、㈱エクスメディオ、㈱プレシジョン 他) | 4社 |

# グループ物流の「高度化」「効率化」と「標準化」

2020年9月に東北アルフレッサ㈱が郡山物流センターを、2021年5月にアルフレッサ㈱が静岡物流センターを稼働。2022年2月にはアルフレッサ㈱が、グループ最大規模となる つくば物流センターの建設を開始

つくば物流センターの建設開始（完成イメージ）



静岡物流センターの稼働



郡山物流センターの稼働



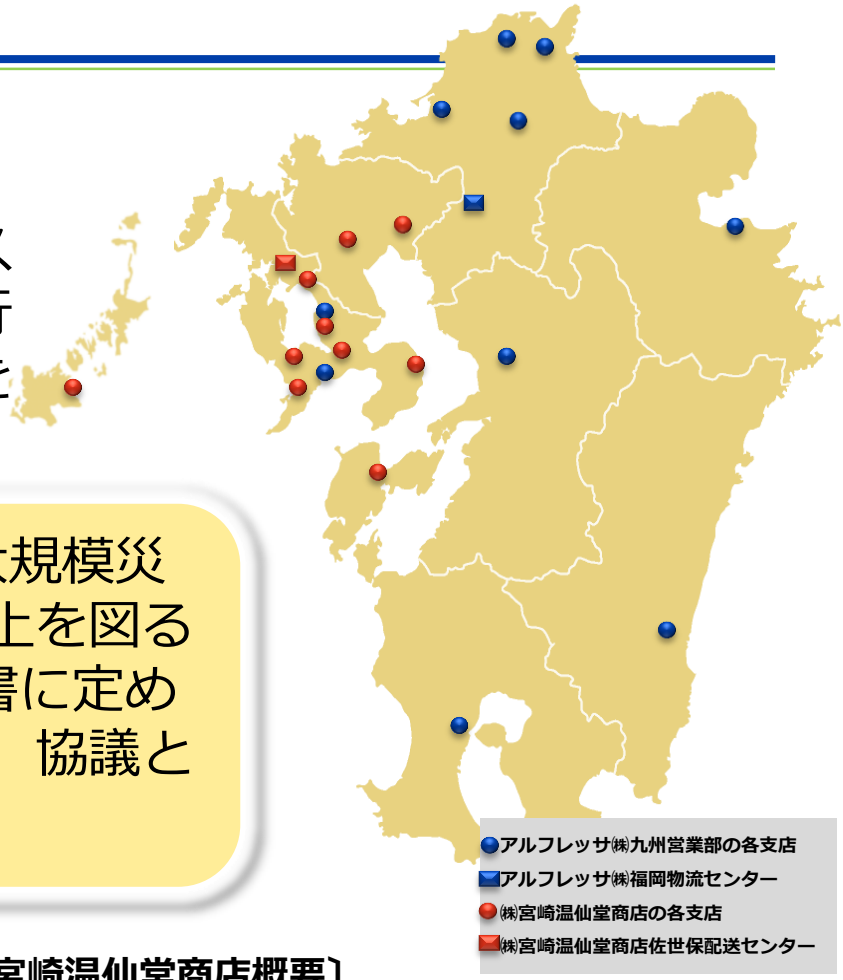
高度な物流機能を有し、かつ災害に強い物流拠点を通じて、地域医療に貢献

# エリア戦略の実践

2022年3月

**アルフレッサ ホールディングス㈱**

㈱しんようフォレストホールディングスの子会社である㈱宮崎温仙堂商店の発行済普通株式の取得に関する基本合意書を締結




九州エリアにおける事業基盤強化や、大規模災害等の対応力向上を通じた企業価値向上を図るべく、2022年11月を目途に基本合意書に定める事項に関する最終契約締結を目指し、協議と検討を進めていく

**〔㈱しんようフォレストホールディングス概要〕**

本店所在地 :長崎県諫早市東小路町2-28
代表者 :代表取締役　宮﨑　到
事業内容 :純粋持株会社

**〔㈱宮崎温仙堂商店概要〕**

本店所在地:長崎県諫早市東小路町2-28
代表者 :代表取締役　宮﨑　到
事業内容 :医療用医薬品、検査用試薬および機器等の卸売事業

# 医薬品等製造事業セグメントにおける合併①

**2022年5月16日**

## アルフレッサ ファーマ㈱とサンノーバ㈱が合併に関する基本合意

合併契約の効力発生日：2023年4月1日予定



### アルフレッサ ファーマ株式会社

- 本社所在地：大阪府大阪市中央区
- 代表者　　：代表取締役社長 島田浩一
- 設立年月　：1920年3月
- 資本金　　：30億円
- 従業員数*　：852名

<2022年3月期>

- 売上高　　：352億円

**製造5事業**

医薬診断薬 / 医療機器(MD) / 海外 / 受託 / 原薬(API)

### サンノーバ株式会社

- 本社所在地：群馬県太田市
- 代表者　　：代表取締役社長 竹川徹
- 設立年月　：1923年3月
- 資本金　　：3億20万円
- 従業員数*　：306名

<2022年3月期>

- 売上高　　：81億円

**受託事業**

製造受託 / 製剤開発 / 分析受託 / 臨床試験 / 当局への申請

*パート社員、派遣社員を除く

**効率性の向上**

**受託営業体制の強化**

**戦略投資の実行**

# 医薬品等製造事業セグメントにおける合併②

## 主要生産拠点の概要

### アルフレッサ ファーマ株式会社



岡山製薬工場

液剤・固形剤の製剤から包装工程まで医薬・診断薬の高い生産能力を発揮

- 医薬品GMP適合
- ISO13485認証取得



モディオダール錠



ミダフレッサ静注



千葉工場

国内最大規模の手術用縫合糸をはじめ、各種医療機器の製造拠点

- 医療機器QMS省令適合
- ISO13485認証取得
- ISO9001認証取得
- CEマーキング認証取得



手術用縫合糸

### サンノーバ株式会社



本社・工場

医療用/一般用医薬品(OTC)等の開発及び製造として、固形剤・液剤・半固形剤まで多様な剤形の医薬品を生産

- 医薬品GMP適合
- ISO14001認証取得









主要な受託生産品目(医薬品)

医薬品GMP(医薬品等の製造管理及び品質管理の基準)、医療機器QMS(医療機器の製造管理及び品質管理に関する基準)、CEマーキング認証(製品に関して欧州連合地域の安全規格適合の認証)
ISO13485(医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格)、ISO9001(製品及びサービスにおける品質マネジメントシステムの国際規格)、ISO14001(環境マネジメントシステムに関する国際規格)

# 環境保全

2022年5月
アルフレッサ ホールディングス㈱

## TCFDに基づく開示情報の策定

**【アルフレッサグループ環境方針：基本理念】**
アルフレッサグループは、健康関連領域で事業を展開する企業グループとして、人々の健康や暮らしに影響を与える地球環境問題を、経営上の重要課題の一つとして認識しています。
「すべての人々が健康に暮らせる社会」の実現に向け、環境関連法令等の遵守はもとより、積極的に環境負荷低減および環境課題解決へ貢献していきます。

| ガバナンス | 戦略 | ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | 指標および目標 |
|---|---|---|---|
| ●CSR推進委員会の下部にTCFD分科会を設置<br><br>●コンプライアンス・リスクマネジメント会議と連携し、PDCAを回し、取締役会に報告 | ●２つのシナリオ(1.5℃、4.0℃上昇)を踏まえ、短・中・長期で、リスク・機会を洗い出し<br><br>●財務影響の大きさを評価、対応策を検討し、事業戦略に反映 | ●情報を収集し、リスク・機会の評価・特定<br><br>●リスク管理の取り組みを推進、進捗を管理し、取締役会に報告 | ●2020年度を基準に、2024年度末に10%、2030年度末に30%の削減目標を設定<br><br>●2050年度にCO２排出量ネットゼロの目標 |

# 健康経営

2022年3月

## ■ グループ７社

健康に携わる企業グループとして、社員一人ひとりが心身ともに元気にいきいきと活躍できる職場環境を整え、健康経営を推進

### 7社で認定取得

#### 大規模法人部門




- アルフレッサ㈱（3年連続）
- ティーエスアルフレッサ㈱
- ㈱琉薬
- アルフレッサ ヘルスケア㈱
- アルフレッサ メディカルサービス㈱（2年連続）

#### 中小規模法人部門




- アルフレッサ ホールディングス㈱
- アルフレッサ ファインケミカル㈱　（2年連続）

※健康経営優良法人認定制度：特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度

# ダイバーシティ

## アルフレッサグループ ダイバーシティ方針

アルフレッサグループは、多様な人財を積極的に受け入れ、多様な働き方を選択できる環境を整え、多様な才能を大切にします。

共に働くすべての人が、いきいきと活躍し能力を最大限発揮でき、挑戦し続ける企業文化を醸成します。

## 女性管理職比率の目標

**2020年度末**

**3.8%**

**目標**

2025年度： **6%以上**

2030年度： **10%以上**

※アルフレッサグループのダイバーシティ関連データ（2021年3月期。 女性に関する数値は正社員のもの）

**多様な人財の活用を通じた生産性や競争力の向上を図る**

# 2023年3月期業績予想

# 連結業績予想

| (百万円、%) | 2022年3月期 | | **2023年3月期予想** | | 対前年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 額 | 率 |
| 売 上 高 | 2,585,643 | – | **2,618,000** | **–** | 32,356 | 101.3 |
| 売上総利益 | 187,468 | 7.25 | **191,700** | **7.32** | 4,231 | 102.3 |
| 販 管 費 | 158,377 | 6.13 | **162,200** | **6.20** | 3,822 | 102.4 |
| 営業利益 | 29,091 | 1.13 | **29,500** | **1.13** | 408 | 101.4 |
| 経常利益 | 32,576 | 1.26 | **32,800** | **1.25** | 223 | 100.7 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 32,182 | 1.24 | **21,200** | **0.81** | △10,982 | 65.9 |

# 医療用医薬品等卸売事業

- 前年度までの入札指名停止等の影響減等により医療用医薬品は増収の計画
  （参考）医療用医薬品：市場成長予測*△0.4%
- 物流センターの投資による減価償却費等の販管費の増加はあるものの、適正価格での販売の継続により増益

| (百万円、%) | 2022年3月期 | | **2023年3月期予想** | | 対前年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 額 | 率 |
| 売 上 高 | 2,288,102 | – | **2,316,000** | **–** | 27,897 | 101.2 |
| 売上総利益 | 138,102 | 6.04 | **140,000** | **6.04** | 1,897 | 101.4 |
| 販 管 費 | 113,262 | 4.95 | **114,000** | **4.92** | 737 | 100.7 |
| 営業利益 | 24,839 | 1.09 | **26,000** | **1.12** | 1,160 | 104.7 |

*クレコンリサーチ&コンサルティング

# セルフメディケーション卸売事業

- 物流関連費用等の販管費の増加はあるが、引き続き利益管理の徹底と専売メーカー・専売商品の拡充等に取り組み、増収増益の計画

| （百万円、%） | 2022年3月期 | | **2023年3月期予想** | | 対前年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 額 | 率 |
| 売 上 高 | 244,822 | – | **245,000** | **–** | 177 | 100.1 |
| 売上総利益 | 24,053 | 9.83 | **24,400** | **9.96** | 346 | 101.4 |
| 販 管 費 | 22,183 | 9.06 | **22,500** | **9.18** | 316 | 101.4 |
| 営業利益 | 1,869 | 0.76 | **1,900** | **0.78** | 30 | 101.6 |

# 医薬品等製造事業

- 承継品の拡充等の製品ラインナップの増加、および受託製造が堅調に推移すること等により増収
- 開発研究費等の販管費増加により減益を計画

| （百万円、%） | 2022年3月期 | | **2023年3月期予想** | | 対前年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 額 | 率 |
| 売 上 高 | 47,359 | – | **50,700** | **–** | 3,340 | 107.1 |
| 売上総利益 | 12,610 | 26.63 | **13,800** | **27.22** | 1,189 | 109.4 |
| 販 管 費 | 10,743 | 22.68 | **12,300** | **24.26** | 1,556 | 114.5 |
| 営業利益 | 1,867 | 3.94 | **1,500** | **2.96** | △367 | 80.3 |

# 医療関連事業

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関の受診抑制からの回復や、2022年4月、アポクリート㈱の非連結子会社からの事業譲受等により増収
- 上記の事業譲受で販管費額は増加するも、昨年4月のセグメント内合併による更なる効率化を推進するなどし増益を計画

| （百万円、%） | 2022年3月期 | | **2023年3月期予想** | | 対前年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 売上比 | **金額** | **売上比** | 額 | 率 |
| 売 上 高 | 34,468 | – | **35,200** | **–** | 731 | 102.1 |
| 売上総利益 | 12,927 | 37.51 | **13,500** | **38.35** | 572 | 104.4 |
| 販 管 費 | 12,744 | 36.97 | **13,300** | **37.78** | 555 | 104.4 |
| 営業利益 | 183 | 0.53 | **200** | **0.57** | 16 | 109.3 |

# アルフレッサ ホールディングス㈱の新体制

（2022年6月28日予定）

| 役　職 | 氏　名 |
|---|---|
| 代表取締役社長 | 荒川　隆治 |
| 取締役 副社長 社長補佐<br>財務企画・コーポレートコミュニケーション担当 | 岸田　誠一 |
| 取締役 副社長<br>医療用医薬品等卸売事業担当 | 福神　雄介 |
| 取締役 常務執行役員<br>グループ企画・事業開発・海外事業担当 | 大橋　茂樹 |
| 取締役 常務執行役員<br>総務・人事企画・ＤＸ推進・コンプライアンス担当 | 田中　敏樹 |
| 取締役 | 勝木　尚 |
| 取締役 | 島田　浩一 |

| 役　職 | 氏　名 |
|---|---|
| 取締役（社外取締役） | 原　大 |
| 取締役（社外取締役） | 木下　学 |
| 取締役（社外取締役） | 竹内　淑恵 |
| 取締役（社外取締役） | 國政　貴美子 |

| | |
|---|---|
| 常勤監査役 | 尾崎　正和 |
| 常勤監査役 | 上田　裕治 |
| 監査役（社外監査役） | 神垣　清水 |
| 監査役（社外監査役） | 加藤　善孝 |
| 監査役（社外監査役） | 伊東　卓 |

# 「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、歴史的事実以外のものは一定の前提下で作成された見通しや戦略であり、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有しておりません。

アルフレッサ ホールディングス株式会社

**問い合わせ先**
アルフレッサ ホールディングス株式会社　コーポレートコミュニケーション部
TEL: 03-5219-5102　　FAX: 03-5219-5103
E-mail: ir@alfresa.com